

池袋駅西口地区まちづくりニュース

No. 12

2011年1月

発行：池袋駅西口地区まちづくり協議会

まちづくりとは何か?! 今、西口で活発に議論が行われています!

平成22年度は、昨年のハード面での複数の街づくりプランを踏まえ、ワークショップを開催しました。その後、西口のまちづくりの方向性について真剣な議論がなされています。今回のニュースでは、その議論の概要をご紹介します。そもそも、まちづくりとは何なのか…。皆さんもぜひ、議論にご参加ください!

第3回全体協議会開催 ～ ワークショップの検討内容について報告しました ～

〔日時〕平成22年12月20日(月)午後7時～午後8時15分

〔場所〕豊島区立勤労福祉会館4階 第3、4会議室

〔参加者〕25名

〔議題〕・第1回まちづくりワークショップの検討内容について

・池袋西口地区のこれまでの活動報告と今後の活動

〔主な質疑応答〕



第3回全体協議会の様子

Q. 事業採算性について判断のできる材料はいつ出るのですか?

A.平成20年の勉強会で概算検討はしていますが、建物配置や規模等のハード面の検討を詰めなければ、事業採算性の検討には進めません。

Q. 駅前エリアだけでなく、検討の範囲を広げ、西口全体のもっと大きなエリアで議論をすべきではないでしょうか。

A.2月10日に「まちづくり懇談会」を開催します。ハード面、ソフト面、エリアのあり方など検討などを含め、西口の将来像を語る自由な議論の場としていきたいと考えています。

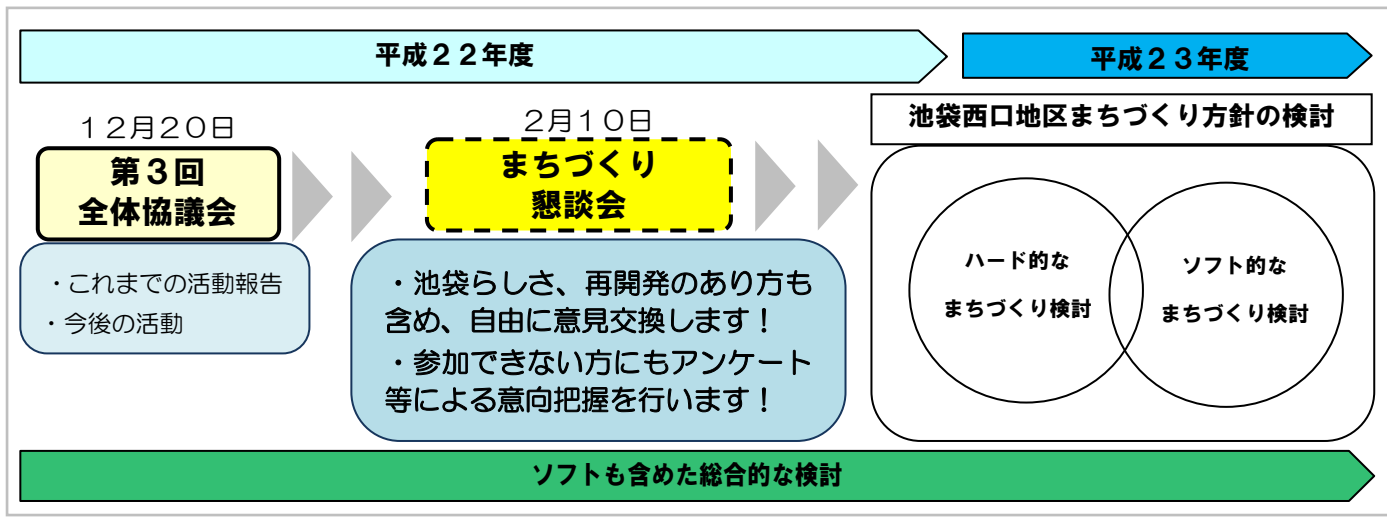
Q. なぜこの地区が再開発対象地区になっているのですか?

A.昭和50年代に、芝浦工大跡地開発構想と都の芸術文化施設構想が出されたのを契機に再開発エリアとして位置づけられ、当時の西口開発協議会が発足したことに始まっています。

Q. 西口周辺のまちづくり動向を教えてください。それがわからないと、まちづくりの議論ができません。

A.2月10日の懇談会で周辺のまちづくり動向がわかる資料を用意します。ぜひ、懇談会にご参加ください。

〔今後の活動内容について〕



役員会における議論 ～ 議論を深めるため「まちづくり懇談会」の開催を決定 ～

■第9回役員会

〔日時〕平成22年11月19日（金）午後2時～午後3時半

〔参加者〕11名

〔議題〕・まちづくりニュース11号の内容について

- ・第2回まちづくりワークショップをふまえた今後の進め方について
 - ①まちづくり懇談会の開催による自由な意見交換の場の提案
 - ②Hブロック懇談会の開催

〔主な意見〕

- ・懇談会テーマ案「西口を良くするためにどのような取り組みをすれば良いか」とあるが、テーマが漠然としている。もう少し、内容を踏み込んで皆さんの疑問を出していった方が良い。
- ・本来は、ハードの検討の前にソフトの議論が必要なのではないか。
- ・池袋はポテンシャルが高い。それゆえに新しいまちを目指すべきである。
- ・過去何十年間池袋のまちづくりの議論はなかったため、こうした議論が始まったことは非常に良いことだ。

〔確認事項〕

- ・自由な意見交換の場として、「まちづくり懇談会」を2月に開催する。
- ・Hブロック地権者と他ブロック地権者との情報共有を図るため、「Hブロック懇談会」を開催する。

■第10回役員会

〔日時〕平成22年11月30日（火）午後2時～午後4時

〔場所〕豊島区立勤労福祉会館6階 大会議室〔参加者〕13名

〔議題〕・第3回全体協議会(12/20)の内容

- ・全体懇談会(2/10)の内容
- ・エリアマネジメントの説明

〔主な意見〕

- ・エリアマネジメントの研究者の話を聞いてみたい。
- ・再開発ビルの完成後の管理面についても考えていく必要がある。
- ・今までのハードの議論は全くの無駄にはならない。基本に立ち返っていろいろ議論すればいい。

〔確認事項〕

- ・まちづくり懇談会では、これまでの役員会での議論などを紹介し、自由に議論する。
- ・今後のまちづくり活動の参考とするため、エリアマネジメント研究者に講演を依頼する。

第1回Hブロック懇談会開催 ～ これまでの協議会検討内容について情報共有 ～

〔日時〕平成22年12月17日（金）午後7時～午後9時

〔場所〕豊島区立勤労福祉会館4階 エポック10会議室〔参加数〕11名

〔検討事項〕これまでの活動経過について

- ①まちづくり勉強会の内容（平成19年12月～平成21年6月）
- ②まちづくり協議会発足後の検討内容（平成21年7月～）

〔主な質疑応答〕

Q. Hブロックを含めて再開発した場合の資料がないので作成してほしい。

A.以前、勉強会でほかの3ブロックの検討資料は作成した経緯があります。次回のHブロック懇談会までに作成します。

Q.当初、Hブロックを対象地区に入れていなかったのはなぜですか？

A.都税事務所が築浅であるため共同化は困難という判断でした。しかし、良好な街づくりのためにはHブロックも含めた検討が必要という昨年度の議論を踏まえ、まちづくり検討エリアに編入した経緯があります。

Q.はたして再開発が成功するのか危惧がある。経済的見通しなど、考えるための筋道を示してほしい。

A.確かに「人口減少社会」の到来に伴い、身の丈再開発が言われています。だからこそ、今、池袋西口でどのようなまちづくりをすべきか、ハードとソフト両面から議論すべきであると思います。エリアマネジメントの研究者の講演会も開催しますので、皆さん一緒に西口の将来を考えていきましょう。



第1回Hブロック懇談会の様子